

上田市学校施設長寿命化計画（案）の概要

1 長寿命化計画策定の背景と目的

第二次ベビーブーム世代の増加等に伴い、全国的に昭和 40 年代後半から 50 年代にかけて、多くの学校施設が建設され、それらの建物が今後一斉に改築需要を迎えます。

このため、中長期的な計画の下、持続的かつ安定的に施設を維持・管理していくため、これまでの改築手法に加え、比較的新しい学校施設については、施設の寿命を延ばす「長寿命化改修」を行うことで、持続可能な施設の維持管理体制を築くことを目的に長寿命化計画を策定します。

2 本計画の位置付け

上田市公共施設白書及び上田市公共施設マネジメント基本方針を上位の計画とし、教育施設等（共同調理場、教職員住宅を含む）を対象に具体的な管理計画として、上田市学校施設長寿命化計画を定めます。

3 計画対象施設	・小学校	25 校
	・中学校	11 校
	・共同調理場	3 箇所
	・教職員住宅	3 箇所

4 計画期間

令和 3 年度から令和 4 2 年度（4 0 年間）

なお、児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度の動向により早急な対応が必要な場合には、随時見直しが可能であることとします。

また、事業実施に当たっては、市の施策の具体的な計画となる実施計画（3 箇年計画〔毎年見直し〕）に位置付けて実施することとします。

5 本計画の運用方針

本計画は、上田市における学校施設等の改築や長寿命化改修等の施設整備に当たっての優先順位の考え方を示すものであり、具体的な事業スケジュール及び予算については、その都度施設の状態を見極める中で、上田市実施計画の中で年次計画及び事業費を精査します。